

第三號砂防堰堤費	金具一式	雜品一式	雜工費	職工給	工夫給	看守給	賞與並ニ負傷手當	工事具費	運搬器具費	全上布設並修繕費	運搬費	總計
----------	------	------	-----	-----	-----	-----	----------	------	-------	----------	-----	----

二、九四、三三	一、四六五、〇〇	三、〇八、〇〇	一、五九五、三〇	一、三六、三三	五、一六五、九三	一、五〇九、四〇	四、五、九七	五、四七、八六七	六、三六、二〇三	一、三六二、四九〇	七、六四、三八	三、四、三六、九六
---------	----------	---------	----------	---------	----------	----------	--------	----------	----------	-----------	---------	-----------

材料費	工費	鐵管及ビ制水弁ヲ除ク	步道、丸太、繩蔭等	仮道、仮橋、足代、切、水替等	延人員 石工 三六六、九	延人員 鐵工 一四三、八	延人員 大工 一六三、一	延人員 一〇、三八〇、六	日給最高六十四錢 最低二十五錢	延人員 四、二一、八	日給最高四十五錢 最低二十五錢	備人賞與金 二三八、四六〇	負傷手當金 二二七、四七七	內修繕費 一〇五、一三〇	輕便軌道及付屬品	總工事費
一、二一〇、一七六	一、〇八四、〇四六															七、二五七、四〇八、 ^内 せめんさ運賃ニシテ他ハ嫌 五及雜品運賃ナリ

○ 拔 萃

○ 普國政府新設ノ水理學實驗所

つあいとしゆりふどふゆうるびんねんしつふふある

と雜誌抄譯

普國政府千九百一年ノ豫算書ニハ伯林府ノ動物園内小島ニ於テ水理學上ノ事項ニ付キ實驗ヲ爲スニ必要ナル設備ニ干スル費用ヲ豫定セリ此實驗所ノ目的トスルトコロノ主ナルモノハ

(一)暗車ニ依リ進行スル處ノ舟ハ如何ナル程度ニ水ノ抵抗ヲ受クルカラ離形ヲ用井實驗スルヲ

(二)舟ノ進行ニ伴フ水ノ波動ハ如何ニ運河ノ兩岸及其底部ヲ破壊スルカラ確ムルヲ

(三)開渠又ハ暗渠中ノ水ノ運動ヲ増減シ恰モ河川内ニ於ケル砂利ノ移轉ノ狀況ノ如キヲ生ゼシムルヲ

此實驗所ノ他ノ用途ハ量水用器械殊ニ河川流量ノ測定ニ必要ナル器械ヲ檢定スルニアリ從來此種ノ器械檢定ハ外國ニ依頼シタルヲ以テ之レガ爲メ費ストコロ多クシテ檢定ノ精確ヲ保証スルノ一事ニ至リテハ甚タ不充分ナルヲ免レザリシガ爲メ此舉アリ之レト共ニ今一個ノ實驗事項ハ航行上及航路保存上最有効ナル大小船舶ノ形体ノ決定ヲ實驗上ニ求ムルニアリ

以上ノ目的ヲ達スル爲メニ實驗所ニハ有効長百五十米巾五米水深三米ノ水溜ヲ設ケ上屋ニテ被覆シ光線及點燈ノ供給ヲ充分ニシテ室内實驗上ノ不明ヲ避ク此實驗ニ使用スル水ハらんどべーるかなるヨリ分導シ來ル處ノ長百米巾三米ノ水路ニ依リ供給セラル此水路ハ上記

水溜同様ニ被覆アリ又其分導口ニ於テ流入スル水ノ活力ヲ消滅セシムル爲メ一個ノ水溜ヲ設ク

以上ニ加フルニ實驗上ニ必要ナル機械器具及事務室ヲ附加シ設備ヲ完成ス此實驗所ハ水理工事監督所工科大學及海軍省ノ實驗用ニ使用サレ得ル (ひな)

○新育港ノ電動浮船渠 ゑれくとりかるうをるご雜誌ヨリ抄譯

此浮船渠ハ近時築造セラレタルモノニテ各長八十呎ノ五區劃木製浮函ヨリ形成セラル各浮函間ノ距離四呎全長五百呎完成ノ上ハ八百呎ニ達スト云フ巾百二十呎高中央ニテ十五呎半左右ニ於テ五十六呎ナリ總浮載力ハ壹万五千噸ト稱ス各區劃木製浮函ハ更ニ内部ニ六個ノ區劃室ヲ供ヘ此室内ニ保存スル空氣又ハ水ノ量ノ増減ニ依リ必要ノ傾斜ヲ浮函ニ與フルヲ得ルノ裝置ナリ此浮船渠ノ特色トスル處ハ乾涸ニ電氣力ヲ應用セシ一事ニシテ各區劃浮函ニ七十五馬力ノ三相式電動機ヲ供ヘ直軸回旋唧筒二個ヲ運轉ス

八千噸ノ船ヲ乗セ之レヲ四十分間ニ乾涸スルノ豫定ニテ唧筒ノ力ヲ計算セリ實用ニ際シ費シタル乾涸時間ヘまうんどべろな號六百四十九噸ニ二十五分ヲ要シかりほるにや號九千噸ニ僅ニ五十一分ヲ費シタリト云フ (ひな)

○架材強弱計算圖表

別紙圖表ノ様式ハ原ト長友D、N、君ノ考案ニ係リ同君ガ嘗テ機關

車牽引力ノ計算ニ適用セラレタルヲ更ニ翻案セシモノニシテ其ノ計算ハ尋常普通ノ公式 $WT = \frac{1}{6} Wl^2$ ニ據リ之ヲ圖表ニ改メタルマデニシテ格別創設ニ屬スルモノアルニアラザレド此ノ圖表ヲ應用スルキハ總テ計算ノ勞ヲ省キ且ツ荷重徑間若ハ架材ノ強度及幅厚等其ノ孰